

山口大学医学部附属病院から笑顔と情報を発信するコミュニケーションマガジン

# 山大病院だより

10  
2017

VOL.236

特集：◎生体肝移植再開へ



2016年11月 16年越しの悲願

## 生体肝移植再開へ

山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座では、16年間山口県で行われていなかった肝移植診療の再開に取り組み、院内の関連診療科（消化器内科、小児科、麻酔科、放射線科、救命救急センター、集中治療部、病理診断科）などと密に連携をとり準備をしてきました。

そして、2016年11月、生体肝移植を16年ぶりに再開し、現在（2017年10月1日）までにすでに4例を施行しました。

今回は16年ぶりに再開した生体肝移植について紹介します。

## 山口大学医学部附属病院での生体肝移植

山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学講座

「命のリレー」。一般に臓器移植は、そのように言われています。また、ローマカトリック教会は、法王が交代されるたびに「人間愛の象徴である臓器移植医療」を全面的に支持する」と宣言することが習わしになっています。

「肝移植」は、そんな医療、臓器移植の一つになります。

この「肝移植」が本院で昨年（2016年）11月に再開されました。

きっかけは2015年3月、永野浩昭教授の山口大学への着任でした。永野教授は、肝胆膵・移植外科領域では日本でも有数の外科医で、週刊誌などにも「手術のうまい肝胆膵外科医」としてとりあげられてきました。肝移植の経験も豊富で、手術経験250例、責任執刀件数は100例を超え、前任地の大阪大学では肝移植の責任者でもありました。

その実績と本院消化器内科との思いが

融合しました。本院消化器内科は、肝臓病学における日本有数の施設の一つです。最近では、肝不全に対する再生医療などでは世界のTOP JOURNALにとりあげられ本邦での評価も高い施設です。両科の肝移植再開への強い思いからスタートした「山口大学肝移植・再開プロジェクト」でした。

永野教授は、現在も前任地の大阪大学で肝移植の手術があれば、指導医として手術を行っています。再開前、山口大学には肝移植を経験したことのある外科医、

麻酔科医、ICU医師、看護師等が一人もいませんでした。そこで、まず、永野教授が大阪大学で手術を行う際に、各部門のスタッフが同行し、数回にわたり見学しました。

並行して、院内の検討会も開始しました。消化器・腫瘍外科の医師が中心となつて病棟、手術部、ICUのスタッフと、詳細な打ち合わせを何度も行ってきました。そして、その最後のまとめとして、大阪大学から、消化器外科の医師1名、病棟看護師2名、ICU看護師2名、手術部看



護師2名、肝移植レシピエントコーディネーター1名を本院に招いて、具体的な症例を想定したシミュレーション・セミナーを開催しました。

万全な態勢を整え、2016年に本院をはじめ県内の消化器内科の先生たちに、肝移植を希望される患者さんの紹介を受ける旨、周知いたしました。

現在までに10数例の紹介がありました。すべての症例が生体肝移植の適応というわけではありませんでしたが、十分な検討のうえ、2016年11月に再開第1例目の肝移植を行い、現在までにすでに4例が行われました。順調に回復され、すでにお仕事に復帰された患者さんもあります。そして、この11月には、5例目を行う予定です。

「何とか肝移植診療を山口県で再開できた」。スタッフ一同、ようやくそんな気持ちになつていきます。

肝移植は、肝臓を提供されるドナーの患者さんに対する強い思いがあつて、はじめて成立する医療です。そして、もはやいかなる治療を持ってしても助けてあげることができないにいる患者さんが、10年、20年と長生きできる、移植外科手術による逆転満塁ホームランといつても過言ではない医療です。

このすばらしい医療「肝移植」、山口県で少しでも多くの患者さんがその恩恵をうけることができるように、これからも精進していきたいと思つています。

患者さんの笑顔が何よりもうれしい



## 肝移植について

### 肝臓とは

肝臓は身体の中で最大の臓器で、健康な人の肝臓の重さは体重の約50分の1、成人で約1.3kgあります。肝臓は、蛋白、脂肪、糖、ビタミンなどの代謝、不要になった物質の解毒、また、胆汁を作つて腸に

分泌し食物の消化吸収を助けます。このように肝臓には複雑な機能が数多くあるため、機能が大幅に低下すると、体内の代謝のバランスが崩れ、食欲不振、易疲労感、黄疸などが出現します。

### 肝移植を必要とする疾患

肝機能が悪くなると、黄疸、腹水、門脈圧亢進症、食道静脈瘤からの出血、脾腫が出現し、進行性、不可逆性になると死に至る状況に陥ります。そのような状況になった場合、肝移植で悪くなった肝臓を新しい肝臓と入れ替えること以外、有効な治療法がありません。ただし、患者さんの状態(肝移植の禁忌状態)によっては残念ながら適応から外れることがあります。

### 生体肝移植とは

生体肝移植は、すでにわが国では7000例以上行われ、日本での肝移植医療の主流となつており、その成績は、欧米での脳死肝移植の成績とほぼ同等です。また、新たな免疫抑制剤の登場により、拒絶反応の頻度も減少してきています。ただし、移植を受ける前の状態も重要で、肝不全が非常に進行し、腎不全などの合併症が重症化すると、肝移植を施行しても術後の生存率が

やや悪くなりますので、「肝移植が必要なた状態である」と診断されれば、なるべく早く移植を受けた方が良いと考えられています。

### 生体肝移植手術

平均手術時間は生体肝移植で約12時間、術前の状態によっては、早いときには8時間、遅いときには24時間以上かかることもあります。

移植後は、全身状態が落ち着くまで集中治療室(ICU)で回復を待ちます。手術後数日間(状態によってはもっと長いこともあり)、人工呼吸器による呼吸管理が必要となります。呼吸循環機能が安定し、移植肝が動きはじめると薬による鎮静を中止し、気管内挿管チューブを抜去(抜管)し人工呼吸器を取り外します。

手術後は、腸などの消化管が動き出すまでは経口摂取ができませんので、静脈カテーテルや鼻から小腸へ留置された栄養チューブで水分や電解質、栄養が補給されます。一般に術後4〜7日目頃から、消化管の動きが回復し食事摂取が可能となります。順調にいけば、移植後1〜2カ月程度で退院となります。

退院した後も、免疫抑制剤の投与による感染症にかかりやすい状態(易感染性)がしばらく続きますので、移植後1年間は2週間に1回の外来通院によるコントロールが必要です。

# 難病対策センター

開設2年  
を迎えて



難病対策センターは、県内の医療機関や保健所との連携を強化し、より適切な治療・相談支援体制を構築するため、山口県との連携・協力により平成27年9月に開設しました。

「難病対策センター？何をするとこなの？」と思われる方もいらっしゃると思います。当センターは、患者さんの治療をするところではなく、県内の患者さんやそのご家族、医療機関や保健所からの相談に応じる窓口です。難病医療コーディネーター2名が常駐し、療養や日常生活に関する相談を電話、来所、メールで受けています。なかには、専門医の判断や医療機関等との調整を必要とするためお待たせすることもありますが、患者さんのことを思い丁寧に対応することを心がけています。

相談業務のほかに、在宅難病患者一時入院（レスパイト入院）の際の、関係機関との連携・調整や、難病医療に関する情報提



供等を行っています。

また、県内の難病医療従事者を対象とした研修会を年3回開催し、質の向上を図っています。

センターが開設し2年が経ち、患者さんや医療機関、保健所からの相談も増えており、難病対策が一步步前進していると感じています。



年3回開催している研修会

## 難病対策センターへのご相談

相談日時：平日（月曜日から金曜日）の9時から16時まで

相談方法：電話、Eメール、来所

※相談費用はかかりません。

※出張等で不在の場合もありますので、お越しの際は事前にご連絡ください。

山口大学医学部附属病院 難病対策センター  
〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1 外来診療棟3階  
TEL 0836-85-3236, 3237  
FAX 0836-85-3238  
Eメール nanbyou@yamaguchi-u.ac.jp

# 難病対策センター開設2年を迎えて

難病対策センター長 神田 隆

難病法に基づく医療費助成制度が発足して、従来の特定疾患医療費助成制度に基づく56疾患から、大幅に疾患数が増加して現在330の指定疾患が、「難病」として助成制度の対象となっています。

難病に属する疾患は、パーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症など神経内科で診る疾患が飛び抜けて多いことから、神経内科長である私が難病対策センター長を拝命しておりますが、難病に指定されている疾患は神経筋の病気だけではありません。山口大学医学部附属病院のすべての診療科に何らかの難病がかかっているといつてよく、また、複数の科で横断的にみていかならないといけない患者さんも多数おられます。

難病対策センターでは、難病の理解を目的とした医療従事者や一般市民に対する啓蒙活動、難病患者の診療に関わる各科の連携強化、国・山口県を含む行政への働きかけなど、今まで必ずしも十分ではなかった分野に積極的にかかわっていきたくと考えています。

難病の患者さんへの適切な医療の提供は大学病院の大きな使命のひとつです。センター職員同、この使命に向けてしっかりと仕事をしたいと考えています。



## 病院整備計画室 だより



### 林文部科学大臣ご来訪

9月9日(土)に、林芳正文部科学大臣が視察のため来院されました。はじめに、本学の施設環境部長の説明の下、岡学長をはじめとする本学関係者とともに、外来患者用立体駐車場の屋上から新病棟建設現場を見学されました。

その後、会議室に場所を移して、杉野病院長から病院再開発整備事業の概要、進捗状況及び県内の医療状況について説明があり、林大臣は、山口県内の分娩取扱医療機関が減少していること、また、人口あたりの呼吸器内科専門医数が他県と比較して少ないことについて熱心に質問されていました。

当院では、このような現状への対応として、受入体制強化のために新病棟でGCU(継続保育室)を4床増床予定(8床↓12床)であり、また、呼吸器感染症内科(10床)を新設し、新病棟ではさらに10床増床予定である等、機能強化を進めています。

### 新病棟新営工事進捗状況

建設現場では、地上階の鉄骨がすごいスピードで組み上がってきています。郵便局のある第2病棟側を見ると、8月末時点では何も無かった場所(黄枠部分)に、たった1ヶ月で5階床部分まで骨組みが上がってきており、第1病棟側(赤枠部分)についても、1ヶ月で3フロア分(5階床部分↓8階床部分)組み上がっています。



▲病院再開発整備事業について説明する杉野病院長(右端)と林大臣(左から三番目)



▶建設現場を見学される林大臣(右から二番目)と岡学長(同三番目)



再開発整備事業へのアクセス

山口大学 再開発

検索



再開発整備事業URL

<http://h-seibi.hosp.yamaguchi-u.ac.jp>

平成29年8月26日撮影

平成29年9月30日撮影

## 1 病棟 4 階 西

各病棟をご紹介します

1 病棟 4 階西は、産婦人科 37 床、M F I C U (母体・胎児集中治療室) 6 床、神経内科 3 床、共通病床 3 床の混合病棟で、看護師 18 名、助産師 29 名、看護助手 2 名、クラーク 1 名が働いています。昼夜を問わず緊急入院の多い病棟ですが、レディスフロアという特徴から、女性の患者さんが安心して心地よく療養生活を送



れるよう、患者さんに寄り添ったチーム医療の提供を心掛けています。

婦人科疾患領域では手術療法、化学療法、放射線療法、症状コントロールといった治療が行われ、最近では悪性腫瘍(子宮体がん)に対する腹腔鏡手術も導入されました。手術による後遺症や化学療法・放射線療法による副作用で、様々な影響を抱えながら生活しなければならぬ患者さんが、家に帰ってから困ることがないように、在宅移行に向けた支援も含め、他職種と協力し個性のある看護ができるように取り組んでいます。特にリンパ浮腫(※1)に対しては、リンパ浮腫セラピストを中心学習会を開催し、患者指導及びケアを提供し

ています。

周産期領域では、総合周産期母子医療センターの M F I C U で母体搬送を受け入れ、母体の救命救急、ハイリスク妊娠、合併症妊娠、胎児疾患等に対応しています。後方病床となる産科病棟では、妊娠・分娩・産褥期を通し、母と子の絆が深められるようにと、母乳哺育等への支援にも

力を入れていきます。

また外来では、ローリスクの妊婦さんを対象に、医師と協働し、助産師が「助産外来」にて健診を行い、妊婦さんのサポートを行っています。現在 7 名のアドバンス助産師(※2)が所属しており、新病棟移転後の院内助産開設も視野に入れ、専門性を高めていくための研鑽を積んでいるところです。

今後も、患者さんが安心して入院生活を送れるよう、患者さんの目線に立ち、患者さんやご家族の気持ちに寄り添えるように、スタッフ全員が努力していきたいと考えています。

※1..がんにおける手術や放射線治療によって、リンパの流れが停滞することで、腕や足がむくむ症状。がん患者さんの多くがリンパ浮腫を発症することが多い。

※2..日本助産師評価機構による「助産実践能力習熟段階(クリニカルター)レベルⅢ認証制度にて「正常な妊娠・分娩・産褥・新生児期の助産ケアを、責任をもって自律して実践できる」能力を有すると認証を受けた助産師。



リンパ浮腫セラピストによる学習会

日常生活での注意点やケアの方法など正しい知識を患者さんへ伝えるため、学習会を開催しています。

## 大田師長より一言

女性特有のライフステージにおける健康問題に目を向け、患者さんに寄り添い、温もりのある看護を目指し、チームワークを大切に頑張っていきたいと思えます。



手作りの折り紙作品



「助産外来」では、助産師が健診を行い妊婦さんをサポートします



母乳哺育推進のための学習会も行っています



Today's menu

## かぼちゃとひき肉のカレー

材料 1人分

- かぼちゃ…………… 65g
- 合挽き肉…………… 40g
- 玉葱…………… 50g
- きのこ類…………… 50g
- サラダ油…………… 1g
- 100%野菜ジュース 70cc
- コンソメ…………… 1.3g
- カレー粉…………… 小1/2
- ウスターソース…………… 6g

### 作り方

- ① かぼちゃはスプーンでわたと種をとり、皮を少し残して一口大切り。玉葱はみじん切り。しめじは石づきをとってほぐし、エリンギもやや大きめに切る。
- ② 鍋に油を引き、肉と玉葱を炒める。玉葱がしんなりしたら、カレー粉、ソース以外の材料と具がかぶるぐらいまで水(分量外)を加え、かぼちゃが柔らかくなるまで煮る。
- ③ カレー粉、ウスターソースを加えて混ぜ、軽く煮こみ、完成。

かぼちゃは煮崩れしやすいので大きめに切るのがポイント。



食欲の秋。  
美味しい新米とともに、  
こんなカレーはいかがでしょう。  
今回はカレールウを使わずに  
作ってみました。  
秋に美味しくなるかぼちゃと、  
うまみや食感のあるきのこを  
使用しています。



栄養成分 エネルギー 240kcal 食塩相当量 1.3g

※ご飯のエネルギー含まず

カレールウを使った場合に比べ、約50kcalエネルギーダウン、塩分0.7gの節塩ができました。  
カレーはあまり噛まずに食べる傾向があるため、噛みごたえのあるきのこを加え、しっかり噛めるようにしました。  
カレーの場合、器が大きくなりご飯が通常よりも多くなるので、食べすぎには注意しましょう。

### かぼちゃの効能

カロテンやビタミンEが豊富に含まれます。カロテンは肌や粘膜を丈夫にし、感染症に対する抵抗力を高めます。ビタミンEは抗酸化作用が強く、血行促進効果で、冷え性の症状改善に。油と一緒に摂るのが効果的です。夏に収穫し、追熟させ甘みが増す秋が食べ頃。ずっしり重く皮が硬いもの、カットしたものは果肉の色が濃く、種子がつまっているものを選ぶのがおすすめです。

出典：「食の医学館」、「知っておきたい野菜の基本」

# 10月からバスの乗り入れ時刻が変更になりました

## 市街地循環線

路線番号 71

停留所名	時刻				
宇部新川駅	10:30	11:30	12:30	13:30	14:30
川崎美術館前	10:32	11:32	12:32	13:32	14:32
中央町二丁目	10:34	11:34	12:34	13:34	14:34
宇部中央	10:35	11:35	12:35	13:35	14:35
記念会館前	10:36	11:36	12:36	13:36	14:36
大学病院前	10:37	11:37	12:37	13:37	14:37
大学病院*	10:39	11:39	12:39	13:39	14:39
アルク琴芝店	10:41	11:41	12:41	13:41	14:41
北琴芝	10:43	11:43	12:43	13:43	14:43
慶進高校前	10:45	11:45	12:45	13:45	14:45
琴芝駅前	10:46	11:46	12:46	13:46	14:46
寿町二丁目	10:47	11:47	12:47	13:47	14:47
常盤町一丁目	10:49	11:49	12:49	13:49	14:49
市役所前	10:50	11:50	12:50	13:50	14:50
宇部中央	10:52	11:52	12:52	13:52	14:52
中央町二丁目	10:53	11:53	12:53	13:53	14:53
川崎美術館前	10:55	11:55	12:55	13:55	14:55
宇部新川駅	10:57	11:57	12:57	13:57	14:57

路線番号 72

停留所名	時刻					
宇部新川駅	★8:15	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00
川崎美術館前	★8:17	10:02	11:02	12:02	13:02	14:02
中央町二丁目	★8:19	10:04	11:04	12:04	13:04	14:04
宇部中央	★8:20	10:05	11:05	12:05	13:05	14:05
市役所前	★8:21	10:06	11:06	12:06	13:06	14:06
常盤町一丁目	★8:22	10:07	11:07	12:07	13:07	14:07
寿町二丁目	★8:24	10:09	11:09	12:09	13:09	14:09
琴芝駅前	★8:25	10:10	11:10	12:10	13:10	14:10
慶進高校前	★8:27	10:12	11:12	12:12	13:12	14:12
北琴芝	★8:28	10:13	11:13	12:13	13:13	14:13
アルク琴芝店	★8:30	10:15	11:15	12:15	13:15	14:15
大学病院*	★8:32	10:17	11:17	12:17	13:17	14:17
大学病院前	★8:34	10:19	11:19	12:19	13:19	14:19
記念会館前	★8:35	10:20	11:20	12:20	13:20	14:20
宇部中央	★8:37	10:22	11:22	12:22	13:22	14:22
中央町二丁目	★8:38	10:23	11:23	12:23	13:23	14:23
川崎美術館前	★8:40	10:25	11:25	12:25	13:25	14:25
宇部新川駅	★8:42	10:27	11:27	12:27	13:27	14:27

★:運行日注意 土日祝は運休  
 ※土日祝日は、大学病院正門口に停車します。大学病院敷地内には停車しません。  
 (注意)曜日に関係なく同じ時刻です。 H29.10.1改正



## めぐりーな

### 大学病院

平日のみ(終点は宇部新川駅)

工学部・ときわ公園方面				宇部新川駅方面			
路線番号	経由	時刻	行先	路線番号	経由	時刻	行先
74		◎10:01	めぐりーな	73	記念会館前	◎10:07	宇部新川駅
74		◎12:01	めぐりーな	73	記念会館前	◎12:07	宇部新川駅
74		◎14:01	めぐりーな	73	記念会館前	◎14:07	宇部新川駅
74		◎16:01	めぐりーな	73	記念会館前	◎16:07	宇部新川駅

土日祝日は、大学病院正門口または大学病院前バス停をご利用ください。 H29.10.1改正  
 ◎:スロープ付きバス(点検などによりスロープ付きバスが運行できない場合があります)  
 (注意)1月1日・2日・3日、8月15日・16日及び12月30日・31日は日祝日運行です。  
 交通渋滞のため遅れることがあります。宇部市交通局 0836-31-1133

運行案内システム



## NEWS



### ふれあいコンサートを開催しました

10月7日(土)、外来診療棟1階ロビーにて、「日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーによる木管五重奏宇部興産グループふれあいコンサート」を開催しました。

このコンサートは、8日(日)に行われた「第10回宇部興産グループチャリティコンサート」に合わせて、宇部興産株式会社及び同楽団のご厚意により、同楽団メンバー5人(フルート、オーボエ、ホルン、ファゴット、クラリネット)による「木管五重奏」を演奏していただいたものです。

入院患者さん、近隣住民の方など大勢の方が美しい音色に聴き入っていました。



### 編集後記

暑い暑いと言っているうちに、あっという間に10月ですね。過ごしやすい季節になりました。朝晩は、冷え込むことも多くなりましたので、体調を崩されないように気をつけてください。

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。  
 今後読んでみたいテーマ、興味のある記事などお気軽にお寄せください。

FAX 0836-22-2113 E-mail me202@yamaguchi-u.ac.jp

企画発行: 山大病院だより編集委員会  
 事務担当: 山口大学医学部総務課総務係

〒755-8505 山口県宇部市南小串一丁目1番1号

TEL 0836-22-2007 URL <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp>

